板書例

【展開順】

1　第一段　起

○エノモトさんからの相談

エノモトさん

画家兼高校教師

「わたし」の部屋の真上

地区の自治会の役員同期きっかけ

ときどきコーヒーをごちそうに

世間話

＝そのくらいの仲

（近過ぎず遠過ぎない）

二か月前　妙なものを手に入れた

←

←コーヒーの誘いがない

←

二か月後　桜が咲き始めていた（春）

花びらは、水に浮いてふよふよ

＝そんなこんな（物語の引き金）

←

エノモトさんから電話

相談に乗ってもらえないか